

高橋和夫 議員



## 知って得になる情報を 広報に掲載してはどうか

問

市民が日常生活の中で、知らないために不利益を被ることが多々ある。

国民健康保険税は1年半の未納で健康保険証が利用できなくなる。しかし、分納により短期保険証の利用が可能である。

そついうことを各分野で調査、選出し、知らないと損をし知って得になる情報を、毎月広報で情報公開すべきではないか。

期限内納税の啓蒙にもつながるので、ぜひ役所内に情報公開チームをつくり、いろんな条件を精査しながら公表してほしい。

20年度にガイドブック  
改定版作成を考えている

答 市長

市のいろいろな情報を分かりやすく1冊にまとめた「くらしのガイドブック」を、市内全世帯に配布している。20年度は各種制度も変わってきたので、改訂版の作成を考えている。

広報に対する（情報提供の）シリーズ化は、一度よく検討したい。

今後は情報通信網の整備が情報公開の最大の武器になる。ケーブルテレビを通じて市民にさまざまな情報を提供していきたい。

産業会館を再開発  
してはどうか

問

現在の産業会館は市の中心市街地に位置し、商工会

はもちろん、各種団体活動に利用されている。  
市の一等地を文化の薫り高い産業文化発展の発信地に活用すべく、再開発を提案する。

将来は本庁舎との  
一体化を考えている

答 市長

産業会館は昭和51年12月竣工後、31年を経過している。  
新しい（仮称）産業文化センターの建設は、現在の敷地が約4,500㎡で、駐車場等も考えられると少し手狭と思う。

そして今後の問題であるが、国道1号の拡幅工事予定もあり、（現在地に）将来的な建設は不可能かと思う。  
本庁舎耐震性の問題は議員も承知の通りである。  
一体化した形の中で、産業文化センター建設は本庁舎との兼ね合いで（今後の方向性を）運んではどうかと考えている。



▲産業会館（昭和51年竣工）